



## Expression profile of S100A2 and its clinicopathological significance in renal cell carcinoma

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 浜松医科大学 公開日: 2021-02-12 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 杉山, 貴之 メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10271/00003784">http://hdl.handle.net/10271/00003784</a>

## 論文審査の結果の要旨

腎細胞がん(RCC)の予後マーカーはあまり知られておらず、多くの研究者が探索あるいは確認作業中である。申請者は、他臓器のがんで抑制あるいは促進的に作用するとの相反する報告のある *S100A2* に着目し臨床的意義の評価を試みた。3 つの RCC 細胞株を用いて、*S100A2* のプロモーター領域のメチル化を methylation specific PCR で同定し、発現量を Western blotting で評価した。さらに、ヒト RCC 組織での RNA 発現量を腫瘍部 vs 非腫瘍部で quantitative RT-PCR で評価し、また p53 mRNA の発現量と比較、また病理検体での免疫染色も行った。

*S100A2* の発現はプロモーター領域のメチル化により腫瘍細胞で減弱しており、ヒト検体でも腫瘍部でも発現の減少が明らかになった。また、*S100A2* と p53 発現量との間に正の相関があった。Stage 別の差は今回の症例数ではでなかったが、実用的な臨床的指標になる可能性を示すことができた。

審査委員会では、免疫染色と mRNA 量との相関、早期症例における評価、*S100A2* 以外のファミリーについての情報など詳細な質疑応答がおこなわれ、*S100A2* が RCC の biological marker の一つで有望な指標であることを明らかにしたことを全員一致で評価した。

以上により、本論文は博士（医学）の学位の授与にふさわしいと審査員全員一致で評価した。

論文審査担当者

主査 梶村 春彦

副査 黒住 和彦

副査 細川 誠二